

<b>区分</b>	専門基礎分野	<b>単位</b>	1単位
<b>科目名</b>	解剖生理学	<b>時間数</b>	30時間
<b>講師名</b>	非常勤講師、専任教員	<b>履修学年</b>	1年次
<b>概要</b>	1. 人体を構成している器官の位置、名称、構造を学び、身体とは何かを理解する。 2. 生命を維持し、種を保存する機能について理解する。		
<b>学習目標</b>	1. 人体を構成している骨や筋、臓器などの位置、名称、構造がわかる。 2. 器官の機能がわかる。 3. 生命を維持し、種を保存する機能がわかる。		
<b>授業内容</b>			
<b>回数</b>	<b>学習内容</b>		<b>授業形態</b>
1	解剖生理学の基礎知識 (第1章、第10章D、第11章)		講義
2	解剖生理学の基礎知識		講義
3	身体の支持と運動 (整形外科：第7章)		講義
4	栄養の吸収と消化 (消化器科：第2章)		講義
5	栄養の吸収と消化		講義
6	呼吸と血液のはたらき (呼吸器科：第3章AB)		講義
7	呼吸と血液のはたらき (血液内科：第3章C)		講義
8	血液の循環とその調節 (循環器内科：第4章)		講義
9	体液の調節と尿の生成・男性生殖器 (泌尿器科：第5章AB、第10章A)		講義
10	女性生殖器・発生 (産婦人科：第10章 BC)		講義
11	情報の受容と処理 (神経内科：第8章A～F、J)		講義
12	内臓機能の調節 (脳外科：第6章)		講義
13	臨床解剖生理 (第5章 C)		講義
14	臨床解剖生理 (第9章)		講義
15	まとめ/試験		講義・試験
<b>使用教科書・教材・参考書</b>			
系統学看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 イメージできる解剖生理学 メディカ出版			
<b>成績評価の方法</b>			
筆記試験100%			
<b>備考</b>			
1～14回目非常勤講師、15回目専任教員 ※情報の受容と処理(眼科・耳鼻科)は病態生理学の中で学習とする。 15回全て合同講義			